



Subaru

昴 男声合唱団

ニュース No.294 '11.03.31

お忘れなく!
4月1日(金) 1800 定例レッスン
4月3日(日) 1400 強化レッスン

・・・3月24日(木)・・・

映画「無言館」実行委員会 昴公演

□ 3月24日(木)は、長編ドキュメンタリー映画「無言館」の「大阪上映実行委員会の結成と試写会」が大阪グリーン会館で行われ、「昴」は招かれて試写会の前に組曲「無言館」の公演を行いました。

□ 檀先生のソロと指揮、早川さんのピアノ、立川さんの司会で、「無言館第一章」、「第二章第よ(ソロ)」、「第四章還らぬ若人」と「第五章いのちへの伝言(2題目から)」を40名の実行委員の皆さんの前で熱唱しました。ステージ出席は「TERRA」からの応援出演2名も含めて29名でした。

□ 「無言館第一章」と「第五章いのちへの伝言(2題目から)」は混声バージョンで、檀さんがソロでソプラノ部とソロ部を歌い、「第四章還らぬ若人」は、男声合唱バージョンで歌いました。ソロはもちろん檀さんです。この組み立ては時間的にもうまくいくので、来る5月21日、東成区民会館での、「無言館映写会」の昴公演でも同じようにすることになると思います。

□ 黒いケント紙の楽譜表紙(山本直一さんが準備)に揃えて出演しましたが、5月21日もこれを使いますので、また、持参してください。

・・・3月21日(月)・・・

2011年合唱団TERRA 声楽発表コンサート

3月21日、芦屋のTERRAホールで、団内コンサート(「声楽発表コンサート」)が開かれました。この日は、25名が出演。①イタリア歌曲の部(8名)②日本歌曲の部(19名)③オペラの部(9名)それに、特別出演 檀美知生という構成で、全曲目は49曲にのぼりました。「昴」からも、山本釦郎さんが、ピリージョエルのLullabyeをアカペラで披露しました。

イタリア歌曲や、オペリアなど、どれも言語の暗譜で熱唱し、水準の高さを示し重量感がありました。昴からは、出演の山本さんのほか、寺脇、橋本の両名が参加しました。

コンサートには、「心のかけはし」の著者、山中喜代子さんも駆けつけてともに鑑賞。演奏後みんなの感想では、東北関東大震災の後でもありましたが、歌が感動を与え、生きる力を呼び起こすということをみんなであらためて認識し合いました。昴の団内コンサートを控えて、できればみんなに参加できれば良かったのと思いながら帰りました。(橋本)



・・・3月11日(金)～12日(土)・・・

「どうしてじゃんけんできないの」 ～大阪空襲ものがたり～ が上演されました

□3月11日(金)に「どうしてじゃんけんできないの～大阪空襲物語」を観に行きました。「大阪空襲物語合唱団」のメンバーとして「昴」の立川さんが出演しました。

□私が行ったのは、金曜日の昼で(14時開演)入場者は少ないのではないかと心配しましたが、開演15分前には、380名のホールで空席をさがすのも大変という満員の入りでした。

□劇の構成も、出演者の技量の高さもしっかり感じさせる舞台上、特に主役の、力の抜けた自然体の演技は、空襲で被災し手に重篤なやけどを負った大阪の实在の庶民を演じきって、説得力があり感動を与えるものでした。

□なぜ「大阪空襲訴訟」をするか、それは、旧西ドイツでは、軍籍による区別なく一元化した補償(医療給付、障害年金、遺族年金、埋葬料支給など)を実施し、民間人も補償対象となっている、また、イタリア、フランス、イギリスでも、民間人の戦争犠牲者には何らかの援護を実施するのが通例になっているのに比べ、日本政府は、早くに終戦することにより避け得たはずの大空襲による被災



に対し責任をとるべきにもかかわらず、軍人軍属と違って、被災民間人とは雇用関係にはなかったからという強弁で、なんらの補償も行わず放置遺棄し、また陳情を担当する部署が存在しないからという信じがたい理由で門前払いしてきたことに対して、人間としての尊厳をかけて、「謝罪と補償」を求め立ち上がらざるを得なかったからです。(大阪空襲訴訟弁護団のHPの「訴状」に実に分かりやすい平易な言葉遣いで詳しく載っています)

□劇のフィナーレでは、訴訟原告団、弁護団の皆さんも舞台にのぼり、決意を述べるとともに、長くなるであろう訴訟に対しカンパの呼びかけがありました。2日間を通じて80万円のカンパがあり、その一部を、ちょうど公演中に発生した3・11北関東大震災の義捐金にまわすことにしたそうです。(三村)

・・・3月25日～29日・・・

「紫金草合唱団 第7次南京公演」が行われました

□今回は「東京紫金草合唱団」企画により全国紫金草合唱団の仲間が、一時、東日本大震災で実施が危ぶまれた中、こういう時こそと、南京公演・交流が3月25日～29日、南京市を訪問して行われました。南京公演は今回で第7次になります。「昴」から、「関西紫金草合唱団」、「奈良紫金草合唱団」の団員でもある、藤後団長、本並指揮者、岡邑さんが参加しました。